

令和4年度府中市環境審議会
第2回生物多様性地域戦略部会報告

- 1 日時 令和4年7月15日金曜日 午後6時00分～午後7時30分
- 2 会場 府中市役所北庁舎3階第1会議室
- 3 出席委員
金子部会長、吉川委員、金本委員、江島委員、山田委員、青山委員、栗原委員、吉武委員
- 4 議題
第3次府中市環境基本計画（素案）第4章基本方針2について
- 5 議事内容
第3次府中市環境基本計画（素案）第4章基本方針2について
ア 内容
 前回部会における素案に対するご意見を踏まえ作成した素案（修正案）について
 イ 主なご意見と事務局対応

No	主なご意見	事務局対応
1	「生き物同士のつながり」の図に不正確な部分が残っており、修正が必要。	修正いたします。
2	「供給サービス」に関する説明が世界レベルだけの視点になっているので、地域からの視点も加えてほしい。	修正いたします。
3	基本施策 の個別施策 「緑環境と生態系」「水辺環境と生態系」が並列で記載されているが、緑環境は生態系と同じであり、生態系は削除してもよいのではないか。	修正いたします。
4	基本施策 個別施策 「主体間のつながりの創出」という表現に違和感がある。	包含する施策をまとめた表現として作成しており、個々の個別施策の内容をご覧いただくとご理解いただけると思うが、引き続き他の表現も検討いたします。
5	「施策の展開」に示されている個々の取組を実施したかどうかはどのようにチェックするのか。	環境審議会における環境基本計画の進捗管理の中で、チェック機能を働かせていただきたい。

No	主なご意見	事務局対応
6	「施策の展開」にて市以外の主体の取組を「～します」としているが、やらせるという意味か。期待する行動として記載するのなら、そのような意図を注釈として加えてはどうか。	各主体に期待する行動を示したものであり、意図が伝わるよう注釈を加えます。
7	「4つの危機」の「外来生物」に関する説明と写真が一致していないが統一すべきである。	修正いたします。
8	コラム「エコロジカル・ネットワーク」の図については、点のつながりしか見えないが、網の目のようなつながりを表現すべきである。	修正いたします。
9	指標「東京都レッドリスト掲載種数」について、レッドリストが見直された場合はどうするか、掲載種が増えることは必ずしも良いこととは言えないのではないか。	掲載種の増加ではなく、現時点で市内で確認されているレッドリスト掲載種が将来の時点で残っているか否かを測るものであり、誤解のないよう記載の仕方を検討いたします。
10	基本施策 個別施策 「生き物空間の保全」の「生き物空間」という表現は正しいのか。	検討いたします。
11	「重点プロジェクト」について、武蔵台緑地を選定した理由は何か。これは決定事項か。	保全活動や普及啓発における利用など、基本方針2の取組の総合的な展開が想定しやすい環境であるため事務局案として作成したものです。
12	全体的に説明が小さいなど、読みにくい部分があり、修正が必要である。	現在の案については読みやすさに課題があると認識しており、修正を行ってまいります。
13	「重点プロジェクト」の設定意図は何か。予算の確保のためか。	予算確保のためということではなく、市の現状、課題をふまえて特に注力すべき取組を示すものである。
14	国分寺崖線は、国の「自然共生サイト」制度のモデル調査地区候補ともなっており、国等との連携の可能性などもあると思われ、重点プロジェクトの候補地としてふさわしいと思う。	承知しました。
15	「重点プロジェクト」の「目標」の記載順序が基本施策と異なるので揃えた方がよいのではないか。	検討いたします。

No	主なご意見	事務局対応
16	「重点プロジェクト」目標 「生態系の保全」は植生保全のみとなっているが、動物も含めた生態系全体の保全として欲しい。	保全管理ガイドラインに基づく植生保全を中心に考えているが、動物の生態系の保全にも取り組みます。
17	武蔵台緑地と同様に重要な府中崖線の西府エリアについて、市は保全には取り組んでいるのか。	大変重要な緑地と認識しており、市民団体が継続的に保全に取り組まれていることを承知しております。また、近年、市においても生態系に配慮した緑地管理を導入するなど、官民協力して保全に取り組んでいます。

以上